

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1 級

— I

答案用紙

第1予想

平成 28 年度
第144回 日商簿記試験対策
ラストスパート模試

商業簿記・会计学

(午前9時開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第1予想
第144回対策 答案用紙

生年月日

氏名

×

(コロフトジル)

×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ①

商業簿記

問1 ×6年度末の連結貸借対照表

連結貸借対照表
×7年3月31日

(単位：千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現金預金	200,170	買掛金	
売掛金		繰延税金負債	
商品		借入金	116,630
繰延税金資産		資本金	
有形固定資産		資本剰余金	
のれん		利益剰余金	185,328
D社株式		その他有価証券評価差額金	
その他有価証券		非支配株主持分	

問2 ×7年度末の連結貸借対照表

連結貸借対照表
×8年3月31日

(単位：千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現金預金	204,356	買掛金	
売掛金		借入金	81,380
商品		繰延税金負債	
繰延税金資産		資本金	
有形固定資産		資本剰余金	
のれん		利益剰余金	237,489
D社株式		その他有価証券評価差額金	
その他有価証券		非支配株主持分	

連結包括利益計算書

(単位：千円)

自×7年4月1日 至×8年3月31日

当期純利益	59,129
その他の包括利益：	
その他有価証券評価差額金	()
持分法適用会社に対する持分相当額	()
包括利益	()
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	()
非支配株主に係る包括利益	()

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ②
会 計 学

第1問

1		2	
4		5	

第2問

問1

(単位：千円)

×6年度 貸借対照表

<hr/>	
流動資産	
繰延税金資産 ()	
固定資産	
繰延税金資産 ()	

×6年度 損益計算書

<hr/>		
税引前当期純利益		100,000
法人税、住民税及び事業税 ()		
法人税等調整額 ()		()
当期純利益		()

×7年度 貸借対照表

<hr/>	
流動資産	
繰延税金資産 ()	
固定資産	
繰延税金資産 ()	

×7年度 損益計算書

<hr/>		
税引前当期純利益		120,000
法人税、住民税及び事業税 ()		
法人税等調整額 ()		()
当期純利益		()

問2

(単位：千円)

×6年度 損益計算書

<hr/>	
税引前当期純損失	△ 10,000
法人税、住民税及び事業税 ()	
法人税等調整額 ()	()
当期純損失	()

×7年度 損益計算書

<hr/>		
税引前当期純利益		30,000
法人税、住民税及び事業税 ()		
法人税等調整額 ()		()
当期純利益		()

金額がマイナスとなる場合には金額の前に「△」を付し、空欄となる箇所には「0」と記入すること。

第3問

問1

×6年度

(単位：千円)

損益計算書

退職給付費用

連結損益計算書

退職給付費用

連結包括利益計算書

退職給付に係る調整額

貸借対照表

退職給付引当金

連結貸借対照表

退職給付に係る負債

連結貸借対照表

退職給付に係る調整累計額

問2

×7年度

(単位：千円)

損益計算書

退職給付費用

連結損益計算書

退職給付費用

連結包括利益計算書

退職給付に係る調整額

貸借対照表

退職給付引当金

連結貸借対照表

退職給付に係る負債

連結貸借対照表

退職給付に係る調整累計額

1 級

— II

答案用紙

第1予想

平成 28 年度
第144回 日商簿記試験対策
ラストスパート模試

工業簿記・原価計算

(商業簿記・会计学終了、休憩後開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

生年月日 _____

氏名 _____

× (コゴロトジル) ×

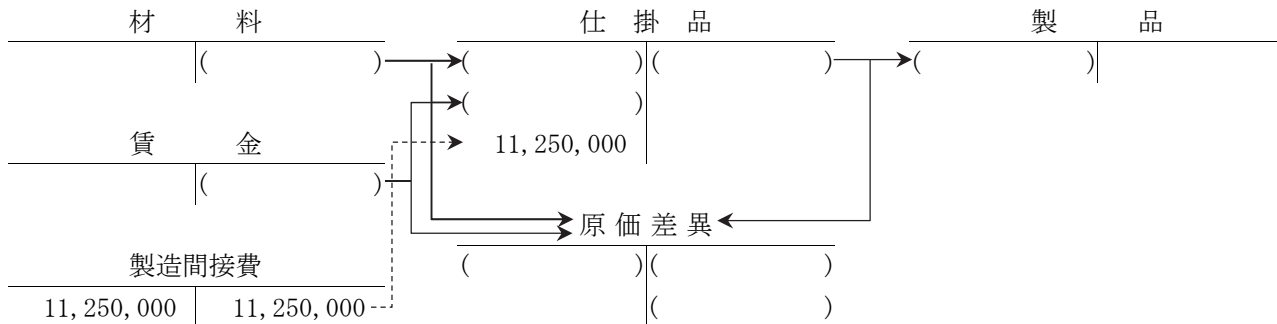
試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ③

工業簿記

第1問

問1 下記の()内に適切な金額を円単位で記入しなさい。



問2

差異分析表その1

1. 直接材料費差異

	消費価格差異	消費量差異	
		材料歩留差異	材料配合差異
α材料	円()	円()	円()
β材料	円()	円()	円()

2. 直接労務費差異

賃率差異	作業時間差異	
	労働歩留差異	労働能率差異
円()	円()	円()

3. 製造間接費差異

	予算差異	能率差異		操業度差異
		製造間接費歩留差異	純粋な能率差異	
変動費	円()	円()	円()	—
固定費	円()	円()	円()	円()

問3

差異分析表その2

直接材料費差異

	消費量差異	
	材料歩留差異	材料配合差異
α材料	円()	円()
β材料	円()	円()

第2問

問1 異常仕損品数量 個

問2 正常仕損費 円/個

問3 製造間接費標準配賦率 円/時

直接材料費標準消費量 kg/個

問4 月末仕掛品原価 円

問5 標準原価差異 円

受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第1予想
第144回対策 答案用紙

生年月日 _____

氏名 _____

× (コゴロトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ④

原 価 計 算

第1問

問1

A案 ・ B案 ・ どちらも同じ ・ この資料からは判断不能

(注) 該当するものを ○ で囲みなさい。

問2

A案 個 B案 個

問3

直接材料費 ・ 直接労務費 ・ 変動製造間接費 ・ 固定製造間接費

(注) 該当するものすべてを ○ で囲みなさい。

問4

円

問5

個

問6

円

問7

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨

(注) 金額がマイナスとなるときは△を付すこと。

問8

円を下回ると意思決定の結論は変化する。

第2問

問1

万円

問2

連結原価 ・ 副産物評価額 ・ 変動製造間接費 ・ 連産品の販売価格 ・ 製品の販売価格

(注) 該当するものすべてを ○ で囲みなさい。

問3

もっとも有利な意思決定は、連産品甲を () kg 追加加工し、連産品乙を () kg 追加加工することである。この場合、追加加工をまったく行わない場合を基準とする差額利益は () 万円である。

(注) 追加加工をしないことが有利な場合は、追加加工量の記入欄に0を記入しなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1 級**－ I****答案用紙****第2予想**

平成 28 年度
第144回 日商簿記試験対策
ラストスパート模試

商業簿記・会計学

(午前9時開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



受験
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第2予想
第144回対策 答案用紙

生年月日 _____

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ①

商 業 簿 記

氏名 _____

× (コロボツジル) ×

問 1

総合損益勘定

(単位：千円)

繰延内部利益控除		本店損益	131,608
法人税、住民税及び事業税		支店	
繰越利益剰余金	93,412	繰延内部利益戻入	

問 2

損益計算書

自×7年4月1日 至×8年3月31日

(単位：千円)

I 売上高			()
II 売上原価			()
売上総利益			()
III 販売費及び一般管理費			
1 販売費・一般管理費	()		
2 貸倒引当金繰入	()		
3 減価償却費	()		
4 退職給付費用	()		()
営業利益			()
IV 営業外収益			
1 受取利息	750		
2 為替差益	()		()
V 営業外費用			
1 貸倒引当金繰入			()
経常利益			()
VI 特別損失			
1 減損損失			()
税引前当期純利益			()
法人税、住民税及び事業税			()
当期純利益			()

問 3

貸借対照表の金額

(単位：千円)

建 物		建物減価償却累計額	
備 品		備品減価償却累計額	
退職給付引当金		繰越利益剰余金	

※ 建物および備品は、減価償却累計額控除前の金額を記入すること。

受験
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第2予想
第144回対策 答案用紙

生年月日 _____

氏名 _____

× (コロボツジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ②
会 計 学

第1問

1		2		3	
4		5			

第2問

株主資本等変動計算書 (単位：千円)

	株 主 資 本						純資産 合計
	資 本 金	資本準備金	その他資 本 剰余金	利益準備金	繰越利益 剰余金	自己株式	
当期首残高	1,000,000	100,000	23,000	140,000	300,000	△54,000	1,509,000
当期変動額							
新株の発行と 自己株式の処分							
剰余金の配当							
当期純利益							
自己株式の取得							
合併による新株の発行 と自己株式の処分							
株主資本以外の項 目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計							
当期末残高							

株主資本等変動計算書の金額が減少となる場合には金額の前に「△」を記入すること。

第3問

問1 ×2年3月31日

段階取得に係る差損益 千円

のれん 千円

※ 段階取得に係る差損、負ののれんの場合には、金額の前に△印を付すこと。

問2 ×3年3月31日

資本剰余金当期末残高 千円

非支配株主持分当期末残高 千円

問3 ×4年3月31日

資本金当期末残高 千円

資本剰余金当期末残高 千円

非支配株主持分当期末残高 千円

1 級

— II

答案用紙

第2予想

平成 28 年度
第144回 日商簿記試験対策
ラストスパート模試

工業簿記・原価計算

(商業簿記・会计学終了、休憩後開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



受験
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第2予想
第144回対策 答案用紙

生年月日 _____

氏名 _____

× (コロボトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ③

工業簿記

第1問

問1

第1工程—仕掛品(製品A) (単位:円)

月初仕掛品原価	完了品原価 ()
原料費 ()	月末仕掛品原価 ()
加工費 ()	仕損品 100,000
当月製造費用	
原料費 ()	
直接労務費 ()	
製造間接費 ()	
()	()

問2

完成品総合原価	円
---------	---

問3

第1工程完了品原価	円
完成品総合原価	円
第2工程月末仕掛品原価	円

第2問

問1

正常仕損品	異常仕損品
個	個

問2

(1)

部品A	部品B	部品C
個	個	個

(2)

部品A	部品B	部品C	加工費
個	個	個	個

1 級

— I

答案用紙

第3予想

平成 28 年度
第144回 日商簿記試験対策
ラストスパート模試

商業簿記・会計学

(午前9時開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1 級

— II

答案用紙

第3予想

平成 28 年度
第144回 日商簿記試験対策
ラストスパート模試

工業簿記・原価計算

(商業簿記・会计学終了、休憩後開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第3予想

第144回対策 答案用紙

生年月日

氏名

×

(ココヲトジル)

×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ④

原 価 計 算

第1問

問1

(単位：円)

	製品 X	製品 Y	合計
販売価格差異	()	()	()
販売数量差異	()	()	()
変動売上原価差異	()	()	()
変動販売費差異	()	()	()
貢献利益差異	()	()	()

問2

(単位：円)

	製品 X	製品 Y	合計
セールス・ミックス差異	()	()	()
総販売数量差異	()	()	()
合計	()	()	()

問3

加重平均貢献利益 () 円/個

問4

市場占拠率差異 () 円
 市場総需要量差異 () 円
 合計 () 円

問5

(単位：円)

	製品 X	製品 Y
変動製造原価差異	()	()
変動販売費差異	()	()

第2問

問1

ポイント

問2

万円

問3

販売固定費投下案を採用すると、営業利益が 万円 (増加 ・ 減少) すると見込まれるため、採用すべきで (ある ・ ない)。

(注) カッコ内は、適切な語句を で囲みなさい。

受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・ウラ予想
第144回対策 答案用紙

生年月日 _____

氏名 _____

× (コゴロトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ②
会 計 学

第1問

1		2		3	
4		5			

第2問

決算整理後残高試算表 (一部)

× 8年3月31日

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
繰越商品		ポイント引当金	
仕入		商品保証引当金	
販売促進費		売上	
ポイント引当金繰入		ポイント引当金戻入益	
商品保証引当金繰入			

第3問

問1	× 7年3月末のA社株式	千円	
	× 8年3月末のA社株式	千円	
問2	× 6年度の持分法による投資損益	千円	
	× 7年度の持分法による投資損益	千円	
問3	× 6年度 法人税等調整額	千円	
	× 7年度 法人税等調整額	千円	

本問では金額の前に「△」等の符号の記入は不要とする。

1 級

— II

答案用紙**ウラ予想**

平成 28 年度
第144回 日商簿記試験対策
ラストスパート模試

工業簿記・原価計算

(商業簿記・会计学終了、休憩後開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



